

# 三宅村 議会だより

第 4 号

2013.01.28



写真：三宅島ヘリポート

## 目 次

平成24年第4回定例会で審議された議案 .....	2
平成24年第4回定例会 議決結果 .....	2
村政を問う（一般質問） .....	3
三宅村議会住民懇談会（報告） .....	9
ライブ三宅 .....	12



平成24年第4回定例会  
(会期：12月12日～13日)で審議された議案

議案第1号

三宅村漁業生産基盤施設設置  
条例の一部を改正する条例

阿古漁具倉庫の解体に伴い  
一部を改正しました。

議案第2号

職員の懲戒に関する条例の  
一部を改正する条例

職員の懲戒に関する周知に  
ついて一部を改正しました。

議案第3号

三宅村職員の給与に関する  
条例の一部を改正する条例

人事院勧告を鑑み一部を改  
正しました。

議案第4号

平成24年度三宅村一般会計  
補正予算(第5号)専決処  
分に係る承認について

議案第5号

平成24年度三宅村一般会計  
補正予算(第6号)専決処  
分に係る承認について

東京都知事選挙並びに衆議  
院議員選挙が行われたため専  
決処分により対処しました。

議案第6号

平成24年度三宅村一般会計補  
正予算(第7号)

主な内容は、国民健康保険

(事業勘定)特別会計繰出  
金・道路維持費・情報通信基  
盤施設管理費等が追加補正さ  
れました。また、特別会計に  
おいては国民健康保険事業勘  
定特別会計他3会計の補正を  
行いました。なお、審議され  
た議案は左記のとおりとなり  
ます。

議案第7号

平成24年度三宅村国民健康  
保険(事業勘定)特別会計  
補正予算(第2号)

議案第8号

平成24年度三宅村国民健康保  
険(直営診療施設勘定)特別  
会計補正予算(第2号)

議案第9号

平成24年度三宅村介護保険  
(保険事業勘定)特別会計  
補正予算(第3号)

議案第10号

平成24年度三宅村簡易水道  
特別会計補正予算(第2号)

議案第11号

火山ガスに対する安全対策に  
関する区域の変更について

平成24年第4回定例会 議決結果

議案番号	議案名	議決結果							
		長谷川一也	彦坂明伸	上松幸男	平川大作	長谷川崇	谷寿文	浅沼徳広	平野辰昇
議案第1号	三宅村漁業生産基盤施設設置条例の一部を改正する条例								
議案第2号	職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例								
議案第3号	三宅村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例								
議案第4号	平成24年度三宅村一般会計補正予算(第5号)専決処分に係る承認について								
議案第5号	平成24年度三宅村一般会計補正予算(第6号)専決処分に係る承認について								
議案第6号	平成24年度三宅村一般会計補正予算(第7号)								
議案第7号	平成24年度三宅村国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第2号)								
議案第8号	平成24年度三宅村国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計補正予算(第2号)								
議案第9号	平成24年度三宅村介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第3号)								
議案第10号	平成24年度三宅村簡易水道特別会計補正予算(第2号)								
議案第11号	火山ガスに対する安全対策に関する区域の変更について								
報告第1号	第5次三宅村総合計画の報告について								
発議第1号	三宅村議会委員会条例の一部を改正する条例								
発議第2号	三宅村議会会議規則の一部を改正する規則								

報告第1号

第5次三宅村総合計画の報  
告について

発議第1号

三宅村議会委員会条例の一  
部を改正する条例

発議第2号

三宅村議会会議規則の一部  
を改正する規則

# 村政を問う

～六人の議員が一般質問～

浅沼 徳広  
議員



**問** 今回発生した山火事について

今回発生した森林火災について、何人かの人から情報不足であると指摘されました。本部は現場の指揮、各関係者方面への連絡等、混乱して大変だと思いますが、再考を願います。また、昼夜を通じて消火活動に従事した消防団員の誠意に応え、待遇改善を図れないか。

**答** 村長

火災発生と同時に防災無線で発生場所と消防団要請の放送を行っております。その後、消防活動の邪魔にならないように、車輛通行の自粛、水道水の節約、消火活動の開始、三池・坪田地区の自主避難、林道への立ち入り規制、バスの運休、避難施設の開放、火災の延焼等、できる限りの情報を流したつもりです。また、消防団の献身的な活躍に対して、改めて敬意を表しており、今回のような昼夜にわたる長期の活躍については夜間警戒手当を出しております。

**問** 税・使用料・貸付金等の未収金について

平成24年8月31日付の村税等収納状況調べによると、一般会計で約3億2千万円とあります。一般会計、特別会計は多少改善されましたが、貸付金に至っては徴収率が11%と極端に低いです。今後、なお一層の努力をお願いします。徴収状況を地区別に分けて各支所に張り出したらどうでしょうか。

**答** 村長

合計約9億4千万の未収金があります。引き続き未収金確保に全力で取り組んでまいります。特に今年度新たな取り組みとして、都と市区町村が連携協力して、12月をオール東京滞納ストップ強化月間として取り組んでいきます。これに合わせて村でも管理職を先頭に滞納者に対して戸別訪問を行っており、100%徴収を目指してまいります。また、昨年度の強制執行は3件ほどです。住民の意識の向上も大切です。方法論については、これから検討します。

**問** 医療関係費の補助

島嶼部は何かにつけて不便を被っている。医療関係費の補助を他の各島と協力して都に要請できないのか。三宅・御蔵は特に船の欠航が目立って不便です。今までは要請の方法を変えてみてはいかがでしょうか。また返事は。

**答** 中央診療所事務長

へき地医療

療行政等の充実ということ、各島共通の要望事項として要請しております。今後も引き続き要望してまいります。

**答** 村長

返事は書面でお出しませんが、よく理解しているという返事はいただいております。

**問** 特産物について

さつまもちを特産品とすることは前村長も賛同してきていたが、その後、特産品として売り出すための方策を考えたかどうか、また里芋も同様です。

**答** 観光産業課長

さつまもちと里芋

共に、今のところお歳暮や贈答品として多少使われていると聞いています。今後はアンテナショップを活用して更に拡大に努めたいと思います。いずれにしても生産者の意欲の向上が第一と考えます。その意欲を行政が支えて行くという観点で、今後も進めてまいりたいと思います。

**問** 野良猫対策について

野良猫対策について、避妊・去勢手術代金の一部を補助してもらえないか。子供の教育上も野鳥の保護という観点からも必要と思えますが。

**答** 村民生活課長

飼い主のいない猫

への餌やりや糞尿の処理等のルール等の合意形成などを作っておくことが必要です。その取り組みの一環として必要があれば手術費の助成を考えたいと思います。今、議員の方から野良猫を管理する会を作ったと聞きました。ぜひそういった所を通じて地域の中で合意形成を図っていただければ考えてみたいと思っております。

**問** IP告知端末について

IP告知端末の利用率はどの位でしょうか。海空路の運航状況等は役に立っていない。神津島では上手く利用していると聞きます。三宅島でももう一工夫してもらえないか。

**答** 企画財政課長

TV電話での利用

率は平均で約40%、村からの配信情報は平均で10%程度です。IP端末は、村から住民へのさまざまな情報を提供するのために導入した機器です。今後、更なる活用を目指してご提言を検討してまいりたいと思います。

上松 幸男  
議員



**問** 火山ガスの規制解除について

最近の村の放送を聞くと、9月11月上旬までのガス発生

地域は島の南西から西側の方が多かったが、南西側、西側は規制が全面解除されています。このことから判断しても、村長は一日も早く規制解除を判断すべきではないでしょうか。

**答** 企画財政課長

現在、三池地区、

御子敷地区の二酸化硫黄濃度は年平均値、割合とも長期的健康基準を満たしていません。一足飛びに解除というのは難しいことから、村では一枚ずつ薄皮をめくるように村民の生活が少しでも早く元に戻るための取り組みを進めてまいります。

**問** 医療の充実について

現在、三宅島の医療では、中央診療所に対応できない場合に画像電送システムによって、CTなどの画像を都立広尾病院または、都立墨東病院へ送り、診断について指導・助言を受けるようになっております。中央診療所や都立病院の医師が忙しくて、早急な回答ができない場合があるとすれば、専門的に画像診断に対応できる大病院や総合病院との連携を模索し、光回線による画像診断で早期発見ができる体制を整備するよう、村として検討すべきと考えられる見解を伺います。

**答** 村長

早急な回答ができなかった場合、大病院や他の病院と連携していきたいと思います。

**問** 海岸保全について

横ママ海岸の終点(村道・沖原線の終点)からアラキ海岸までは、島で一番沈下の著しい場所となっているため、台風や低気圧が来たときは、砂利や砂が道路に打ち上げられて通行不能となり、住民生活に多大な支障をきたしています。また、空港の滑走路南側の方面にも影響が出るのが心配され、一層危険が高まっています。現在の保全区域を延長して、横ママ海岸からアラキ海岸までを保全区域とし認定してもらおうよう、国や都に働きかけるべきと思いますが見解を伺います。

**答** 地域整備課長 海岸保全区域の延長について、管轄である東京都に要望していきたいと思えます。

**再** アラキ海岸から三池港までは港湾区域だが、今回の帰島後、何軒かの住民が居住しています。この地域は沈下が著しいうえに山から火山灰が流れ込んでいるため、高潮のときは陸地まで波が打ち上がり、大変危険な状況です。何らかの防護策を構築すべきと思いますが見解を伺います。

**答** 地域整備課長 アラキ海岸から三池港までの護岸対策について

も都に要望してまいります。

**問** 観光振興について

日本は世界一の地震国、火山国だが、三宅島は火山活動の宝庫となっており、その代表と云ってもいい。島全体を火山博物館として独自性をアピールし、噴火を観光の資源として位置付ける政策を取るべきだと考えますが見解を伺います。

**答** 村長 二次三宅村観光振興プランにおいて、最重要課題としてジオスポットの整備を取り上げており、その中でヘリコプターによる火口遊覧を先日試験的に実施して大好評でした。ご提言のように、三宅島全体を火山島の魅力ある体験ができ、学習できる火山博物館の島にしていきたい。

**再** バードウォッチングや釣り、ダイビングなどの観光資源と火山をセットにした観光メニューづくりや、観光の視点から見た道路網の在り方などの検討が必要です。特に、3年後には完成する神着林道は、終点から徒歩で30分ほど行けば、噴火間もない火口をじかに見ることが出来ます。そのすぐ近くにはスオー穴にできた池があり、雄山の噴火口が一望できます。ここからの光景は非常に雄大で、観光客に大きなインパクトを与えることは間違いありません。道路網の検討について見解を伺います。

**答** 村長 観光振興における道路網の整備について

も、第二次三宅村観光振興プランで最重要政策として

取り上げており、特に、釣ri場やダイビングスポットへのアプローチの整備が必要とされています。また、阿古地区の溶岩埋没地跡には遊歩道を整備しており、観光客のみならず島民にも喜ばれているので、このような遊歩道整備も視野に入れていきたい。神着林道については、三宅支庁が行っていることから、今後、関係機関と協議し、前向きに進めてまいります。

**再** 島外の人から「三宅島を一周する都道に、車からも見える道路位置標識を付けてはどうか」との提案がありました。例えば、役場前を基準として「1番」とし、ここを起点に何キロかごとに番号を付け、この番号と観光マップとをリンクさせれば、カーナビがなくても現在地を把握でき、目的の観光場所への行き方も分かりやすくなりま

す。村として検討してみてもどうでしょうか。

**答** 村長 大変良い提言だと

思いますので、早急に都と協議を進めてまいります。

**再** 観光振興の上で、特に必要なのが交通アクセスの改善です。前にも提案したが、三池港を三方から囲む防波堤を構築して全天候型とし、多少の波でも定期船の接岸を可能とするよう整備することを関係機関に要望する考えがあるか、あらためて伺います。

**答** 村長 三池港の整備について

は、本年度において静穏度を高める工事として、防波堤の延長工事が予定されており、更に平成32年度までの間、現在の堤防工事が進められていくと聞いています。その後の計画については未定とのことですが、安定した定期船の接岸が可能な棧橋の整備促進を都に要望して行きます。

彦坂 明伸 議員



**問** 健康寿命対策について

このほど、厚生労働省から健康寿命に関する調査が公表されました。健康寿命とは、寝たきりや介護者等要介護者と自立生活できる高齢者との高齢者人口の対比でありま

す。これによると男性女性合わせ1位が静岡県、2位が愛知県です。この要因には幾つかありますが、その中で本島も学ぶべき点があり、その一つは静岡では県を挙げて取り組んでおります健康教室の充実であります。このことは私も選挙公約の中で予防医学の促進の一環として訴えてきました。専門家の人たちがこの健康教室の充実を強調しております。このことにより、当然ながら健康な高齢者が増加すると共に、静岡県の65歳以

上の高齢者医療費は20万余円と、全国でも低いランクに位置して医療費の抑制にもなっております。そこで健康寿命対策として健康教室等予防医学の必要性を伺います。

**答** 村民生活課長 病気が要

にならず健康に生活し人生を全うすることは、人間誰しもが希求していることだと思えます。そのためには日ごろから自身の健康状態を把握し、病気や要介護状態にならないための健康的な生活習慣を身につけ、維持していく努力が必要であると思えます。村としても住民の皆さまがいつまでも健康で元気に暮らしていくため、指摘のありました健康教室等の予防医学が重要であると考えます。検診や相談体制を充実すると共に、健康づくりへの意識啓発を図りながら、結果として医療費の抑制につながるような取り組みを進めて行きたいと考えております。

**再** 健康教室等の実施を行っているのか伺います。

**答** 村民生活課長 特定検診

は平成20年4月から制度化され、各市町村の国保の担当として実施しています。特定検診はメタボ検診と言われているものです。その検診が終わった後に、検診で疑いのある人に特定健康指導を実施していますが、受診率が低いので

受診率を上げたいと考えております。また、保健所でも糖尿病の予防教室を開いております。しかしながら参加者が少ない状況になっております。積極的に参加していただけるような意識啓発を今後図って行くよう考えております。

**再** 各地区の老人クラブの中でも活動したらと思うが見解を伺います。

**答** 村民生活課長 老人クラブでの指導につきましては、これまで保健士が1人の状況でしたが、11月に1人保健士の採用をしたので、今後このような取り組みも進めてまいります。

**再** そこで村長に伺います。新島村長が施政方針の中で生活習慣病の予防を図って日本一健康な島を目指すとしておりますが、本村も健康教室等予防医学の促進を図って、伊豆諸島一の健康寿命の高い村を目指したらと思うが見解を伺います。

**答** 村長 具体的な方法等については検討してまいります。

**問** 農業施策について

本島の農業は、担い手が少なく高齢化が進んでいる現状の中で個々の耕作面積も狭い、そのため私は短中期的には現在の農業に加えて農作物は輸送コスト等を考慮して付加価値を付け費用対効果を図るために、加工品として、生産また

換金性の高い苗木を遊休農地等に植樹して枝物として生産出荷する。長期的な展望を踏まえ、本島と同緯度である和歌山、四国、九州の和歌山、熊本、長崎県では果樹栽培が行われています。この地域の果樹生産物は今ではブランド品として名を連ねております。そこで私は他の地域で生産されていない本島に適したものを選んで果樹栽培はこれからの農業施策の一策ではないかと考えるが見解を伺います。

**答** 観光産業課長 現在、島内で行っている農作物につきましては、ご存知のとおり島内消費がほとんどです。ご提言のとおり島外への輸送コスト等を考えますと、当然ながら加工品にしたりブランド化するなどして、付加価値を付けることは必要だと感じます。なお、主力の明日葉につきましては、生葉での出荷が伊豆諸島でトップとなっておりますので、より一層のPRとブランド化へ向けて今後も努力して行きたいと思っております。次に遊休農地等についてですが、現在、山林の植樹回復のためにヒサカキやヤブツバキなどの苗木を各農家の遊休農地等で育て、植林等で利用しています。当面は、植林等で利用することが予想されますが、将来的には出荷も視野に入れた、他地域とは違う本島に適

した果樹栽培の振興策についてですが、現在、パッションフルーツの生産が盛んになっており、島内外で高い評価をいただいております。また、近年、桃やマンゴーなどの栽培も見受けられるようになりました。これらも含め新たな品種についてパッションフルーツ同様に支援してまいりたいと思っております。いずれにしても、ご質問の農作物の付加価値化、換金性の高い苗木の生産、新たな果樹栽培等につきましまして、東京都島嶼農林水産総合センターと連携して、十分調査するとともに、将来の三宅島農業振興をより良いものとしてまいります。

**再** 加工品については、大根、サツマイモ、ヨモギ等加工品として成り立つ物があります。特に私が注目するのは明日葉の根です。ご存知のとおり、この根は朝鮮人参に似ており、何かに活用できると考えます。このように本村には加工品としての農作物があると思うので探求していただきたいと考えます。

**答** 観光産業課長 大根、サツマイモ

ヨモギなど加工品としての調査研究を進めていきたいと思っております。先日開催した産業祭でも、ヨモギ団子を提供して大変評判が良かったと聞いております。また、明日葉の根につきましましては、現在、東京農大の副学長が研究に使いた

いとのことと先日、30株ほどお送りして分析研究していただいております。

**再** 私は新しい試みには必ず不安や課題があり、容易でないことは承知しております。しかしながらそれを徐々に乗り越えて行かなければ依然として現状のままなのです。本島は気候や風土に関しては離島というだけで他地域とそんなに遜色はないと思っております。可能性を求めてぜひ探求してもらいたいと考えます。

**答** 観光産業課長 村の農業振興も帰島後、やっと地盤に乗ってきたところですので、先日の産業祭での農産物品評会において、多数の出品があり、農家の方々の生産意欲が高まっておりますので、今後でもできる限りの支援をしながら検討してまいります。

**問** 第5次三宅村総合計画の報告について

谷 寿文 議員 

年代別人口予測はもっと詳細に区分すべきではないのか。出産年齢を含めた64歳までの人口が10年後に3000人減るのに、14歳までの子供が倍に増えるという見方が私には理解できません。

**答** 企画財政課長 将来人口の方にはさまざまな観点があるうかと思いますが、これは過去5年の住基台帳の数値に住基の変化率というものを掛けることにより推計してまいります。おっしゃられる年齢区分を細かくしますと、かなり膨大なデータ資料となります。

**再** 10年後の人口想定が三千人、良い言い方をすれば「現実重視・堅実型」ですが、これで若者に将来の夢を描けと言っても無理じゃないでしょうか。

**答** 村長 おっしゃることはよくわかりますが、全国的な傾向からも、もう少し人数を少なくしてもという意見がなかったわけではありませんが、政策上で夢や希望をとということもあり、この数字になったわけです。

**再** 費用対効果、適切かつ効果的な施設の設定と行政政策は基本中の基本ですから、人口予測の基礎となる「地区別の人口動向」をどのように把握されているのでしょうか。

**答** 企画財政課長 全体で人口増減を捉えていますので、必ずしも地区別の同行は捉えていません。これをするとなると更に時間的な問題や専門的な知識も生じてくると思っております。即答はしかねる状態です。

**再** 今後10年先まで展開される5次計画ですから、本

来は各地域の同行がわからなければいけないと思うのですが、時間もないので次の質問に移ります。防災の島づくりの観点から各地域の避難所の確保と避難訓練の実施等の考えは。今後、東南海地震が予測され、本島では高い津波予想が報道される中、友島では全島あげて避難訓練を行って

【答】 総務課長

島内避難施設は三宅村活動

火山対策避難施設をはじめ15施設、収容人員は一時避難で約6千人を確保しています。避難訓練は大久保地区で計画していましたが、三池地区の山林火災によりやむなく中止した次第です。東京都との合同防災訓練につきましては強く要望しております。

【再】

津波につきましても各地に海抜表示がされていいますが、どちらの方向のどこに逃げるのか、避難対象世帯に周知しているのか伺います。

【答】 総務課長

該当するエリアの世帯には

一軒ずつ避難方向を明示した図面を送る予定で準備しており、また、海抜表示板と避難方向目印の標示板も追加発注しています。

【再】

防災型グラウンドの整備は可能かということ、

第4次計画にあつたイベント広場や総合グラウンド、神着地区の都勤労福祉会館廃止に対応した集会施設建設、火葬場建て替えなどが消失もしくは再検討のため後期に位置付けられた理由を伺います。

【答】 企画財政課長

総合グラウンドは

23年度に基本計画策定業務を行い、その結果、10力所の候補地選定と陸上400メートルトラック、公式規模の野球場、テニスコート3面、国内外大会対応規模のサッカー場ということで17億から25億円という膨大な積算費用が見込まれております。この必要性は十分認識し、財源の確保が可能な場合には前倒しも含め、防災機能を反映させた安心安全の島づくりに努めてまいります。

【再】

平成23年に用地買収と基本設計で1億3千万円の予算措置をされ、当時はもう少しコンパクトな計画であったと思います。私は何もかも公式な広さで作らなくてもいいと考えますが、もっと早く委員会等を立ち上げるよう再考できないか伺います。

【答】 企画財政課長

本村の財政規模を

勘案し、計画的に行わなければと思っております。

【再】

役場本庁舎の修繕を含めた総合的な計画が必要ではないのか伺います。また、多目的施設については、まだ

議会に第5次総合計画の報告をしない段階で進めていることを道義的にどう理解したらいいのか伺いたい。

【答】 村長

役場本庁舎についてはさまざま議論があるかと思われ

ますが、来年度から基金の積み立てを行います。多目的施設につきましては今年度からプロジェクトチームを設置し、さまざまな観点から見直しを行った結果、当初計画されていた複合施設の計画は破棄し、できるだけ経費を削減して建て替えて事業を進めたいと考えております。

【再】

何百人も集まる施設なのに駐車場がないことが一番のネックで、そんな場所がなぜ適地と言えるのか。避難所としても機能させる施設ならば、都道や村道に無法駐車する車で混乱を招きます。

私は坪田地区内がすべてダメだとは言っておりません。

適切な施設を適切な場所に「この単純なことが、村長の提案した第5次計画で位置付けた「効率的かつ効果的な事業の推進」に合致するものだと思います。三宅村民全員が使う施設ですから納得のいく建設をするよう要請します。

【答】 村長

人口が減少しつつある坪田地区にそれを建設することは、将来への活力、或いは住民ニーズに

応えるものだと思っております。駐車場につきましては、

すぐ下に色々ありますし、おおよそ収容できると考えております。全て満点とはいかないけれども、あそこに作るのが最善だと思っております。村長はあそこが適地だと言いますが、あとあとお金のかからない施設を作ってもらいたい。計画の段階からきちんとしてないと残された者が困ると申し上げて質問を終わります。

平川 大作  
議員



【問】 図書館・郷土資料館について

利用者の意見が届くシステム作りも必要だと考えます。

この度の平成24年三宅村教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書の中に元教諭の方の提言が載っていました。

現状把握、調査、方向性が記されたものです。素晴らしいものでした。こういう提言が活かされれば、素晴らしい両施設になると思います。元教諭の提言をどのように捉え、今後どのように取り組まれていくのか。村民、利用者の声を聞くのどのような方法を取られているのか、図書館、郷土資料館の運営委員会は存在するのかお聞きします。

【答】 教育長

郷土資料館と図書館の二つの施設について管理運営体制やサービスのある方、または人材活用を含めて新島と島根県の

海士町の事例を基に、委員の方からご提言をいただいております。すでに検討を始めているものもあります。今後はご提言の内容を財政面等から三宅村の実情に合わせ検討してそれぞれの運営委員会にあたって、両施設が良い活用がされるように進めてまいります。運営委員会が設置されているのかと言うことで、郷土資料館、図書館ともに運営委員会は設置されております。

【再】

運営委員会等が上がってきた意見を活かされて今後も更なる改善を求めます。

【問】

見守りネットの再開について

このネットワークは高齢者の命を見守るだけでなく、病気の早期発見にもかかる医療費の削減にもつながります。ひいては国保財源の支出削減にもつながります。見守りネットの現状はどうなっているのか。

【答】 村民生活課長

地域の見守りネット

トワークにつきましては、昨年度坪田地区の施行を踏まえまして、現在他の地区でも実施可能となるように見直し作業を進めているところです。

**再** 現状、坪田がどうなっているのかお聞きしたい。

**答** 坪田地区  
坪田地区 坪田地区 坪田地区

**再** 高齡化は待つてくれない。日々の経験が生かされるので早いうちの再開が必要だと思えます。一日も早く実現できるようにお願いします。

**問** ふれあい事業について  
この事業を計画に入れていただいたことは人口が減少し続ける本村にとっては減少に歯止めをかけるまでには至らなくとも、一定の効力がある事業だと思えます。仕事に追われたり離島という条件の悪さも、異性と交流が少ない若者たちには待たれていた事業だと思えます。私はこの記事を読んでいて皆で作りました。島婚という感じがしました。こういう事業は皆で作らなければ成功しない。この事業のメリットは参加者の女性の多くがリーダーになってくれることです。島での出来事を東京に帰ってから友人に話すからです。大した予算をかけずにある程度の費用対効果が望める。私はこの事業に大変期待しています。この事

業の進捗状況をお聞きします。  
**答** 企画財政課長 交流事業  
はすでに本事業の要綱に基づき広報三宅、村のホームページにより募集を行ったところ、応募団体から11月下旬に3月実施の予定で現在申請が上がっています。これを受けて村では事業内容を精査し、補助金の交付決定を行っています。本島におきましても今回の事業が民間の知恵と企画力を持って成功していただきたい。

**問** バイクフェスタについて  
私が新聞を読んでますと三宅に係る記事が載っていました。遠い観光回復という題詞がありました。観戦者を含むツアー参加者は毎年100人程度、観光客も噴火前の半分に低迷したままという内容でした。これが第三者が出した正直な判断結果です。私が言い続けてきた費用対効果がないということが第三者によって認められた。この第三者の費用対効果がないという判断をどう捉えるのか。

**答** 副村長 観光の起爆剤として実りあるものであった。  
**再** 費用対効果が数値にも出ていない。今年の参加選手は何人ですか。  
**答** 副村長 エンデューロー  
ス参加選手は92人で86台、観戦、観光ツアー188

人、内東北の大震災で招待された方が35人、オフロッド体験ツアーは10人で10台、オフロッドツアーは50台、単純に足していたら2000人の来島者がありました。  
**答** 村長 観光の起爆剤になるであらうと言うことでここまでやってきました。少し様子を見ることも必要かと思えます。継続して行きたいと考えます。

長谷川一也  
議員



**問** 環境行政 ごみの不法投棄対策について  
都道・村道脇には車の不法投棄が目立ち、また、山林等においては電化製品等の不法投棄が多いと聞きます。このまま放置すれば景観は勿論、環境への影響が懸念される状況があることから、次の3点について伺います。不法投棄の実態をどの程度把握しているのか。第5次三宅村総合計画に「不法投棄の撲滅など生活環境対策を進める」とあるが、不法投棄問題に対し具体的などのような防止対策を考えるのか。安心・安全な村づくりの観点から、きれいな村づくり条例制定等の考えはどうか。

把握については、帰島後車の不法投棄は、島内巡回により、庭先等を含め十数台かと思えます。中には事業者で何台かを仮置きしている場所もあります。また、山奥の山林等に廃家電や産業廃棄物の放置が一部見受けられ、各地区の所有地・ごみ収集場所においても廃家電や不燃物を不法投棄している場所があります。次に、具体的な防止対策については、不法投棄防止のチラシ等を全戸に配布したいと考えています。また、阿古地区のごみ収集場所や不燃物置き場に不法投棄が多く問題となっていることから、監視カメラを設置する予定です。次に、条例制定等についてですが、すでに三宅村環境保全条例第十一条に廃棄物の投棄禁止と規定されていますので、今後も不法投棄防止の啓発に努めてまいります。また、きれいな村づくり条例についても検討してまいります。

**答** 地域整備課長 不法投棄の実態  
三宅村の管理下にある村道・農道または建物等について、場所によっては危険な箇所が見しているとの話を聞きます。常日頃からの点検・維持管理体制並びに安全対策について見解を伺います。  
**答** 地域整備課長 村道・農道等の安全性は、地域整備課職員巡回

による目視点検を実施しています。

**再** 公共施設の建物については把握しているのか。

**答** 企画財政課長 現時点で把握していません。詳細については把握していません。  
**再** 建物等についてもぜひ調査していただき、危険な箇所等があれば早急に対処してもらいたい。

**問** 福祉サービスの充実  
ケアホーム・グループホームの新設について  
第5次三宅村総合計画の基本策において、「障害者福祉については、ノーマライゼーションの理念のもと、障害者が安全に安心して暮らすことのできる「ふるさと」づくりを進め、地域活動支援センター等の活動と交流の場の充実に図り、自立や社会参加の促進を目指す必要がある」としています。そこで、障害者が安全に安心して暮らすことができる「ふるさと」づくりの一環として、ケアホーム・グループホームを新設する等の考えは盛り込まれているのか伺います。

**答** 民生生活課長 ケアホーム・グループホームの新設を三宅村が実施する考えはありません。また、計画の中にも盛り込んでいません。東京都においてもケアホーム・グループホームの都立施設は考えていな

いとのことです。しかしながら、民間の法人等が主体となり開設を計画するのであれば、三宅村としてできる範囲で支援は検討していきたいと考えます。

**再** 他島においては、民間により実施している場所もあるため、高齢化社会に対応するためにも、今後民間が開設するとなれば支援・協力をお願いしたい。

**問** 防災対策 噴火被害の枯損木処理について

先日、島内において大規模な災害が発生し、広範囲の森林が延焼する山火事となりました。その中で噴火被害による立ち枯れたままの枯損木が延焼を増す原因の一つではないかとの話も聞きます。第5次三宅村総合計画の造林地被害対策にて、噴火被害森林の復旧の一環として、立ち枯れたままの被害木の枯損木処理を推進するとありますが、復旧だけでなく被害を防ぐためにも早急な対応が必要と考えますが見解を伺います。

**答** 観光産業課長

ご指摘の枯損木により延焼拡大の大きな要因となったことは事実であります。東京都及び三宅村において噴火被害森林の復旧と土砂災害の防止、土壌流出防止を図るといふ観点から、平成13年度から枯損木処理事業を都公道隣地をはじめと

し、約440ヘクタール実施してきています。今後も第5次総合計画に基づき、枯損木事業を推進してまいります。また、森林植生の早期回復に向け、植林活動も併せて積極的に実施してまいりたいと考えています。

**再** 東京都と連携を図り、早急に対応をお願いしたい。また、同じ災害が繰り返される可能性があるため、喫緊の課題として取り組んでいただきたい。

**答** 観光産業課長

東京都と調整し事業拡大に向け調整を図りたいと思えます。

**再** 現在ある枯損木の処理方法並びに枯損木の数量について伺います。

**答** 観光産業課長

今回の火災による森林被害総面積が2500ヘクタール近くだと思えます。現時点での枯損木処理は440ヘクタール実施してありますが、まだまだといったところです。また、枯損木の処理方法としては、チップ化するものが一つ、土砂流出防止等砂防における土留め防止の木材として活用しているものもあります。

**再** 防災対策のため、ぜひ対応をお願いします。

**問** 三宅島経済の活性化について

三宅島経済の冷え込みが続

く中、基幹産業である観光業のビジョンはいまだ不透明な状態となっております。三宅島経済を支えているのは公共事業となっております。そのため、公共事業に関わる中小企業者の役割は極めて大きいものであり、社会資本の高齢化時代のためにも、また、修復型・防災型で安全な村づくりのためにも、公共事業に関わる中小企業者は重要な位置を担わなければならない実態です。三宅村にとって地域経済活性化は島民切望の課題です。そこでひとつの提案ですが、公共事業において島外の専門業者を呼ばなければ出来ない事業について、宿泊費等を工事に組み入れ、島外労働者を島内の民宿等へ宿泊させ、シーズンオフでも宿泊施設の有効活用を図れないものか。現状、島内の各中小企業者は個々に宿泊施設を整備し対応しています。この宿泊者が宿泊業者への利用となれば安定した集客対策につながり、観光業のカンフル剤になる、地場へお金が落ちるシステム構築になるものと考えますが見解を伺います。

**答** 企画財政課長

積算の段階において島内事業者の受注が難しいと判断されたものについては、島外業者を想定し宿泊費も併せて積算されております。しかし島内業者発注事業については、当然島内雇用者により

工事施工されるものとして積算されています。これらの設計に対し、各種積算基準に基づき設計審査等を経て施行されていることから宿泊費を工事に組み入れるということも難しいと思われま。しかしながら、全国的な経済の冷え込みが続く中、観光を基軸とした島の活性化を図るうえで、オフシーズンを含めた観光客の誘致は重要な課題として積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

**再** 三宅島経済活性化の一例として提案させていただきます。行政側もぜひ知恵を絞って経済活性化に取り組んでいただきたいと思えます。

**答** 企画財政課長

島の経済活性化は重要な課題と認識していただいております。さまざまな政策が考えられますので積極的に取り組んでまいりたいと思えます。

**問** 情報公開 条例、規則等について

三宅村のホームページには各種情報が掲載されていますが、三宅村の条例・規則等の掲載がありません。他の多くの市町村では例規集としてホームページにて閲覧できるようになっています。三宅村でも住民がいつでも閲覧できるようにすべきと考えますが見解を伺います。

**答** 総務課長

三宅村のホームページには

例規集として閲覧できるように対処してまいります。

**再** 各種委員のメンバー等も含め情報公開をしていただきたいと思えます。

**問** 情報公開 行政相談窓口について

市町村では行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱された行政相談委員を設置することとなっておりますが、三宅村では行政相談委員の設置を行っているのか伺います。

**再** また、行っているのであればホームページ等において相談委員の氏名・連絡先がわかるようにすべきと考えますが見解を伺います。

**答** 総務課長

三宅村においても総務大臣から委嘱された行政相談委員が1人おります。現状、行政相談委員の連絡先等については周知がされていないことから、今後、行政相談員と相談をし、ホームページ等へ掲載をしていきます。

**再** 島民の方から行政相談をどこへすればよいのか聞かれます。行政として明確な情報公開が必要だと思えます。

**答** 総務課長

今後、ホームページ等において、行政相談委員の氏名、役割、内容等について掲載をしていきたいと思えます。



（報告）  
三宅村議会  
住民懇談会

開催日：平成24年  
11月27日  
時間：午後7時～9時  
場所：三宅村役場  
臨時庁舎  
3階議場

村議会議長あいさつ

今回の住民懇談会は田中康稷さんを代表とした30人あまりの人たちから三宅村議会と住民との懇談会を開催してほしいとの要望書を受け、議会で協議し多くの住民が三宅村議会、そして三宅村の将来を心配して三宅島おこしを住民が一緒になってやるうという心意気のもとに懇談会の要望が来たものと受け止め、今回この要望を受け開催することとなりました。皆さまからいろいろなお意見が出ると思いますが、ご承知のとおり議会には執行権がありません。よって皆さま方から上がってきた要望を行政に伝え、それを行政に執行してもらおうという活動しかできませんのでご了承願いたいと思います。議会全体としてのこれまでの取り組みは、ご承知のとおり航空路の羽田～三宅島間で使用している飛行機が退役するとの問題に対し、議会は一団となって特別委員会を発足させ、羽田間の航空路確保に向けた調査、新空港や現飛行場の拡張検討・調査を行い、期間・財政

的に困難であると判断し、現在、大島や新島に通っている調布飛行場への飛行を確保する方針を打ち出し取り組んできました。三市（調布・府中・三鷹）の12月定例会で三宅島（調布間の航空路は承認される見通しがたっています。また、調布飛行場の航空路が開始されるまでの間、全日空にもう1年延長し飛行機を飛ばしてもらおう活動もしております。もう一つの取り組みは、新しい議会になって、島で所有しているさまざまな施設の点検を議員全員で視察しました。視察したなかで問題なのが火葬場です。立地条件が悪いため、塩害・火山ガス等の影響で建物の老朽化が激しく、壊れる度に改修を続けていたから相当の財政負担となりました。火葬場を塩害等の被害が少ない場所へ早急に新設する取り組みも実施しています。三宅島でさまざまな取り組みをするなかで本場に厳しい状況にあります。特に全国離島はどこでもそうですが定住人口の減少に歯止めがかからないという問題があります。三宅島の活性化を図るために、定住人口を確保して増やさなければならぬと思っています。これには行政や議会だけの知恵ではなかなか乗り切ることができない。やはり皆さま方の知恵を拝借しながら島民全体でこの問題に取り組んでいかなければ、三宅島の活

要望者代表あいさつ

性は成し遂げられないと思っ  
ています。今後とも議会に  
対してのご協力・ご指導を賜  
ればありがたいと思います。  
実はこのような公式な会議  
をずっと待ち望んでいました。  
過去にも何回か住民から要請  
した実績もあります。しかし  
それは形になりませんでした。  
私ももそれならば自治会の  
各区の代表者がいますので区  
長会議にて住民との懇談会が  
何とかできないものかという  
ことがありまして再三その運  
動をしましたが、それも色々  
な事情が伴って実際には開催  
することは不可能でした。し  
かし今回こうやって開催でき  
ることになったのは、議長を  
はじめ副議長、議員の方々が  
島を変えようと、豊かな島づく  
りをするという意気込みの一  
環だと感謝しております。住  
民の声をとにかく一つでも多  
く聞くことから始めて下さい。  
それを議会で反映し行政にそ  
の影響力を与えるという基本  
的なことからやっていただき  
たいと思います。こういう会  
議は実はあるようでないです。  
全国的に市町村でやっている  
ところは幾つかありますが、  
特に伊豆七島ではこのような  
形の会議は今までなかったで  
す。画期的なことなんです実  
は、これは三宅村議会の功績  
になると思います。他の島で  
も必ず同じ現象が起きるでし

よう。必ず起きます。そうい  
う意味で優れた英断をしたな  
と思えます。今日の住民懇談  
会で一人でも多くの意見を議  
会に反映するような会議にし  
ていただきたいと思います。

住民懇談会質疑内容等

- Q 各種イベントを実施して  
いるが、毎回場所が変わつ  
たり、舞台等を作る経費もあ  
るので、まずは固定した場所を  
作り、それをみんなで盛り上  
げる方法を示してもらいたい。  
A 私たちもそう思いますの  
で、行政に要望して行き  
たいと思います。
- Q 火葬場については、来年  
に大規模改修が始まると  
聞か、移転先等を最終的に  
考え、早急に対処していただ  
きたい。  
A 今後2年間の改修工事を  
予定してありますが、その改  
修工事もあり大掛かりな工  
事をせず、新しい火葬場が出  
来るまでのつなぎとして進め  
るよう行政とも話をしていま  
す。ただ、新火葬場は10九年  
計画に盛り込まれています  
が、時期が遅いので前倒しで  
早急に対処していただくよう  
取り組む考えています。
- Q 総合グラウンドに関し、  
阿古地区の埋まった場所  
を利活用できないものか。も  
う何十年も経っているのに、行  
政もその場所を今後どうする

- のか示さないと、このままに  
しておくのはと思うのですが。  
A 総合グラウンドの建設費  
用が莫大なものであり、  
今の財政状況では非常に厳し  
い状態です。しかし、住民が  
待ち望んでいるグラウンドな  
ので、本日の懇談会で要望が  
出たということで、村長に伝  
え、強力に進めるよう要望し  
たいと思います。
- Q 三宅村総合計画ははまだ  
議会に出されてないと聞  
きます。ところが既に3月、  
6月、9月と3回議会を開催  
しています。今度の12月に計  
画書が出されると聞きますが  
行政の計画書もなく、ただ議  
員の方は自分たちの思いつき  
の議会をやっていたのですか  
今後、このように冷え切った  
三宅島ですから三位一体とな  
ってこの島づくりをやってい  
かないことには、なかなかこ  
れは大変だと私は考えます。  
A 三宅村総合計画が12月ま  
ですれ込んだことは、そ  
れを許した議会にも責任があ  
るので、十分に反省していき  
たいと思います。
- Q 三宅村本庁の移転につい  
て、村長は3月の定例会で  
何とかこれを戻したいと言っ  
ています。ところが今の状況で  
本庁に役場を戻してどうする  
のですか。この件は議会が真剣  
になって取り組んでいただき  
たい。3千島民を丸く収めて

いくのが行政の役員、また議員の方々の役目だと思えます。  
A 今の村の財政を考えた場合、本庁を何処かに建てるのか、今の本庁舎を改修して移ることは当面無理ではないかと思えます。今年から積み立てを始めたと思えますが、おそらく長期的になると思えます。これを議会が今この場でどうこう答えることはできないので、このような意見があったことを行政に伝えたいと思えます。

Q 阿古地区集会室の冷暖房の完備について、もう何年になるかわかりませんが、体育館には冷暖房の完備がない状態です。何とかならないのか。  
A 体育館の空調設備についても要望があったことを行政に伝えたいと思えます。

Q 阿古地区にも前に使っていた診療所があります。経費の問題もあるかと考えますが、しかし年寄りの人で朝早い人は5時に行って順番を取るといふ件もあります。バスに間に合うか間に合わないかで半日つぶれてしまいます。この阿古の診療所を再開し薬を貰う人はそこで十分に間に合うのです。財政が厳しいのは承知してありますが、しかし補助金を取ってくるのが政治家の仕事です。是非努力してほしいと思えます。  
A これも厳しい問題だと思えます。今の村財政を考

えた場合、特別会計でやっている会計なのでその辺のことも十分に考えて、行政にはそういう形で伝えていきたいと思えます。

Q 調布飛行場が開通になる見通しがありますが、その時にまた現状と同じように火山ガスの問題で欠航ばかりでは意味がないので、その辺をしっかりと協議していただきたいと思えます。  
A 火山ガスレベルが1・2の警報でも飛べるよう、規制緩和を全日空が飛んでいる間にお願したいとの方向で現在要望活動を行っています。

Q 伊ヶ谷の港は観光地で良い港なのだが、波がくぶるとお客が濡れてしまう。臨時バスを出すなど、観光地としての対策をしっかりと考えてもらいたい。  
A 伊ヶ谷港の越波対策、波の問題ですね。来年度トライアスロンの本大会があり、阿古が会場となるとおそらく伊ヶ谷港がお客の乗り入れ港になると予測されます。越波対策は東京都で計画があるので、何年か先の計画となつているので、前倒してトライアスロンに間に合うよう要望活動をしています。

Q 伊ヶ谷と阿古間の海岸線道路を何とか整備してもらいたい。  
A 伊ヶ谷谷と阿古間の海岸線

A 避難道路として伊ヶ谷、阿古間の海岸線道路の要望はあげています。ただ、国・東京都も厳しい状況なので困難ではありますが、何とか3千島民がいざという時に避難できる避難道路をということに要望活動を続けております。

Q 早く三池・沖ヶ谷の復興を先にも重点的にやるべきだと思えます。三池港も船着場としては最高です。お客さんが乗り降りするにも雨の時も時化の時も、でも高濃度地区とされていることによって支援が受けられないことが多々あります。私たち高濃度地区の人にも実際に受けられています。もう7年も経って忘れ去られているのも事実なんです。そこを踏まえて高濃度地区ありきのことを考えてやってもらいたい。島民の他の地区の人にももう終わったということにはしてほしくないのです。それを議員の方たちも一生懸命取り上げてほしいと思えます。

A 私どもも三池地区・高濃度地区の問題は色々難しい問題がある中で、現在も三池・沖ヶ谷地区の問題が終わったとは決して考えておりません。あの地区はこれから色々な面で手を入れていかなければいけないと思っています。学会・国・東京都に盾をついて解除ができないというジレンマがあります。そこに

住む人たちが、解除をしてくれば、その地域には何の援助もいらないうなら別ですが、私どもはまだ資金をつぎ込んで復興させなければならぬという思いがありますから、そういう面でも国と粘り強く交渉する中で国や東京都が良いよという形での解除を目指していきたいと思っています。長い間苦労をかけているのは申し訳ないと思っています。

Q 島にお客さんが来ると温泉を勧めています。温泉はとても良いと喜んでくれるのですが、温度が低い、そして冬場は露天風呂が使えない。折角島に来ていただいたのですから、夜空の星を見ながら露天風呂に入っていたきたいと思つたので、ぜひ温泉の温度を上げていただきたいと思えます。また、入口の階段は年配者の方たちには上がりにくいので、バリアフリー等にしていただきたい。  
A 温泉の温度が低いという話は以前からあった問題です。何度か行政が対処したのですが、水源から離れているとのことで、効果は見られませんでした。今後、ボーリング工事等による温度の改善、バリアフリー等にしていただけるか行政に確認を取っていきます。

Q 温泉の問題ですが、使った下水がふるさと館の前に溜まっています。車が戻つ

ていくのを何回も見ています。なんとか改修していただきたいと思えます。  
A 現場を確認しそのままの状態であれば行政に早急に対応するようにいたします。

Q 八丈島は国内観光の頭打ちということで、既に飛行機を使った観光開発、中国・韓国・台湾・東南アジア・アメリカ・ヨーロッパ等の外国をターゲットに絞ってあります。そのためにここまで18万人の空路確保をしたのです。三宅島にも八丈並みとはいかないけれども、ジェット機を飛ばそうじゃないですか。遠慮することはないんですよ。何か発想はありますか。頭を柔軟にしてください。  
A 新しい飛行場を建設するには最低15年かかります。調布飛行場を利用することは観光目当ての形でわれわれは取り組んでいません。生活路線の確保、島民の利便性を考えて取り組んでいます。決して三宅島にジェット空港の飛行を諦めた訳ではありません。まずは調布飛行場を確保し、その間にそういう方向性の運動をしていきたいというのが議会のなかでも一致した考え方です。

再 指導されている地方行政がもっと柔軟性をもつてくれればこの問題は10年以内に解決すると思っています。私の私案を提示しましょうか。10年以内にジェット機を三宅

に飛ばそうということですが。もっと柔軟にわれわれの生命線ですから、われわれの責任下においてわれわれが三宅の将来を決めようではないですか。その一つの方法として八丈島の大型ジェット機が飛んでいるのは幅が45メートルなんです。これを直線道路で解決すれば良いのです。飛行場をもう一つ作るかと発想するから難しくなるんです。飛行機が来たときだけ飛行場になれば良いのです。通常は道路として使えばいい。伊豆の直線道路が1800メートル取れるでしょ、そこに車幅50メートルの直線道路を作ってください。なぜなら今が最大のチャンスなんです。第3次離島振興法の継続があります。その中に今度は特措法、経済特区という特別な法律が制定されています。それぐらい柔軟な発想を持たなきゃ駄目なんです。

**Q** おそらく来年、坪田の公民館跡地に多目的施設ができると思います。250人規模の冷暖房完備でのホールを造るということ、そのような施設は島にない文化的施設として良いと思います。しかし駐車場がないんです。250人の人を集める施設に駐車場が4・5台分しかない場所に造ってどうするのか。下の小中学校を駐車場にして上まで歩かせられるのですか。できれば坪田小学校に多目的な施設を造って駐車場を完備したものにしてください。折角使う予算ですから無駄のない場所に無駄のないよう造ってください。これから先に造る施設は有効的に失敗のない施設を有効な場所に造ってもらいたいと切にお願いしたい。それから、今有効に使われている体育館に冷暖房を設備することによって400人、500人が集まって集会ができる施設になるじゃないですか。250人の集会場やホールも良いですが、いざ何かをする時には広い施設で何にも使える体育館を普段は体育館として使い、イベント等をやる時や雨の時は使えるように整備し、今ある施設を有効活用する手法もあると思います。

**Q** 確かに施設の有効利用、これは三宅村の財政を考えた中で重点的に真剣に取り組まなければなりません。施設を建設するときも自分の地区にぜひという発想ではなく、やはり三宅島全体としての考えのもと、どの地区に何を重点におくのが一番なのかを常に考え、検討することが島おこしをする面で大切なことだと思えます。施設の有効利用をこれからも議員間で討論しながら真剣に考えていきたいと思えます。

**Q** 中央診療所の院外処方薬局が1店しか無いのは何故なのでしょう。薬価の高い薬を使用しているのにジェネリックの医薬品を使い、と思ったのですが、当店は扱っていないとのことでした。独占契約であって高い薬を売りつけるような薬局1店ではおかしいと思えます。

**A** 9月の定例会でジェネリック薬品の推進について取り上げました。選択肢が増えるようにお願いしたいと要望し、その件については前向きに検討していただけたということなので、これから先、院外薬局を含め、もう少し動向を見たいと思えます。

**Q** 島には色々な人の集まる所があります。あじさいの里、いぶきの会、各地区老人クラブ、シルバー人材センターの労働している会員のみなさん、社協の会食会、三宅島の風の家と、多くの高齢者が集まって意見を言ったりしていますが、その中において議員さんがそのような所に行ってお話をしたりするということがないのです。まったく顔が見えないのです。公式でなくてもコミュニケーションを図るというようなことをお願いしたい。また、今日色々と言ったからご意見が出ましたが、これを今日来ていない人にもお知らせしていただきたい。今後相談をして対応していきたいと思えます。

**Q** IP電話の利用価値が低いので何か良い方法がないものか。今のIP電話は年寄りにはなんだか使い方がわからない。誰が見てもわかるようにしていただきたい。

**A** IP電話で電話をかけ、役所等が安否確認をする活用を行政と協議中です。特に一人だとか体の弱い人たちがいますので、お年寄りがこういう島の横のつながりがある所で、一人で亡くなってしまうとかがないよう、IP電話の活用方法について協議を進めています。

**Q** 島にも感動するものを作る。人が集まらなければ金儲けはできない。人を集めることが先決である。島の気候は温暖なので四季の花の咲く大きな花公園を各地区に作る等、アイデアを出していかないと島にお客を呼ぶかというところを考えると悩む。その辺については観光立島ということで努力してまいりたいと思えます。

**Q** このような会議を開いてもその場に行けない多くの村民も居ると認識していただき、そのような方たちのために、例えばインターネット等を通じて中継をするとか、内容をビデオ等に撮って貸し出し、このような話し合いがされたとか、開かれた形で多くの村民に多くの声が届くようにしてもらいたいとお願いしたいと思えます。

**A** 行政との懇談会の中で、議会などもテレビ等で映してほしいとの意見がありましたので、この点も真剣に各議員と相談しながら取り組んでいきたいと思えます。

**閉会のあいさつ 浅沼議員**  
 本日は活発なご意見、貴重なご意見ありがとうございました。この場だけではなく、今後は、道端で合ったときや電話でもいいですから各議員に意見を言って下さい。議会議員全員で応じますので、支援者がどうのこうのではなく、議員になれば三宅島の議員ですから、その点は遠慮なくどんどん言って下さい。本日は有難うございました。

住民懇談会においてさまざまなお意見・ご要望をいただきました。本内容は行政にご報告させていただきました。

成人式

ライブ三宅

開催日 平成25年1月3日  
場所 コミュニティセンター



出初式



開催日 平成25年1月6日  
場所 湯舟グラウンド



議員コラム

新年明けましておめでとございませう。日本再建をどの政党が担うのかが問われた衆議院選で、国民は民主党政権に明確に「ノー」の審判を下しました。3年3カ月続いた民主党政権はマニフェストの総崩れで国民との約束を破ったうえ、経済、外交の失政で国益を損ない続けました。このことに有権者の失望と怒りがどれほど大きかったかを如実に示しました。

国政が政権交代した現実を踏まえ、三宅村議会議員として公明党のネットワークを活かし、国会議員、都議会議員との連携プレーでさまざまな機関に働きかけをして、一つ一つ政策を実現してまいりたいと思っています。ふるさと三宅島の元氣のために生活を守る公明党議員として、誰よりも真剣に、誰よりも誠実に取り組んでまいります。

残る3年間を以上の決意を持って議員活動をしてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

三宅村議会 長谷川 崇

議会に対するご意見、ご要望がありましたらお寄せください。

編集委員

平川 大 作  
彦坂 明 伸  
長谷川 一 也

お問合せ先

発行：三宅村議会  
住所：東京都三宅島三宅村阿古497番地  
電話：04994-5-0956  
担当：議会事務局 曾我部・丹

